

香川県農業・農村の現状について

1 担い手

1) 農業の労働人口は減少

農業就業人口 47,863 人 (17 年) ⇒ 35,317 人 (22 年)

平均年齢 66.1 歳 (17 年) ⇒ 69.1 歳 (22 年)

2) 中核となる認定農業者は減少から増加へ

認定農業者数

1,708 経営体 (21 年度) ⇒ 1,557 経営体 (24 年度) ⇒ 1,679 経営体 (26 年度)

3) 次世代を担う新規就農者は大幅に増加

新規就農者数 42 人 (17 年度) ⇒ 145 人 (26 年度)

4) 地域を支える集落営農組織も着実に増加

集落営農組織 96 組織 (17 年度) ⇒ 225 組織 (26 年度)

5) 認定農業者・集落営農組織等への農地集積率は全国に比べ低いものの増加傾向

利用集積面積率 13.3% (17 年度) ⇒ 25.8% (25 年度)

2 農産物

1) 農業産出額は減少傾向に歯止め

農業産出額 845 億円 (12 年) ⇒ 747 億円 (22 年) ⇒ 760 億円 (25 年)

[22⇒25 年] 水稲:135⇒133 億円、野菜:233⇒237 億円、果樹:50⇒58 億円、

畜産:271⇒284 億円

2) ブランド農産物の生産が拡大

「さぬき讚フルーツ」の栽培面積 374ha (24 年度) ⇒ 398ha (26 年度推計)

「おいでまい」の栽培面積 650ha (25 年度) ⇒ 730ha (26 年度)

「さぬきのめざめ」の栽培面積 20ha (20 年) ⇒ 35ha (25 年)

ブロッコリーの栽培面積 565ha (20 年) ⇒ 885ha (25 年)

「オリーブ牛」の出荷頭数 100 頭 (22 年) ⇒ 1,746 頭 (26 年度)

3 農業生産基盤の整備

1) ほ場整備率は全国に比べ低いものの増加傾向

ほ場整備率 30.0% (12年度) ⇒ 37.3% (26年度)

2) 老朽ため池の計画的な整備

全面改修済みたため池数 2,948か所 (14年度) ⇒ 3,422か所 (26年度)

4 多面的機能の維持

1) 地域共同活動の取組の活発化

共同活動取組み面積[地区数] 14,802ha[815] (26年度)

{ 農地・水保全管理支払 6,012ha[171] (19年度) ⇒ 11,805ha[351] (26年度)
中山間地域等直接支払 2,375ha[406] (12年度) ⇒ 2,997ha[464] (26年度)

2) 耕作放棄地が増加する一方、解消（再生利用）面積は増加

耕作放棄地面積 3,818ha (12年) ⇒ 5,155ha (22年)

解消面積 83ha (21年度) ⇒ 604ha (25年度)

3) 鳥獣被害が増加

鳥獣被害金額 153百万円 (21年度) ⇒ 282百万円 (25年度)

